

松竹大歌舞伎

松本幸四郎改め二代目松本白鸚 襲名披露
市川染五郎改め十代目松本幸四郎 襲名披露

二〇一九年度
（公社）全国公立文化施設協会 主催
東コース

製作
松竹

一、二代目松本白鸚 襲名披露
十代目松本幸四郎 襲名披露
口中上 中嶋正留 美術

改染五郎 松本幸四郎
改染五郎 松本幸四郎
幹部俳優出演

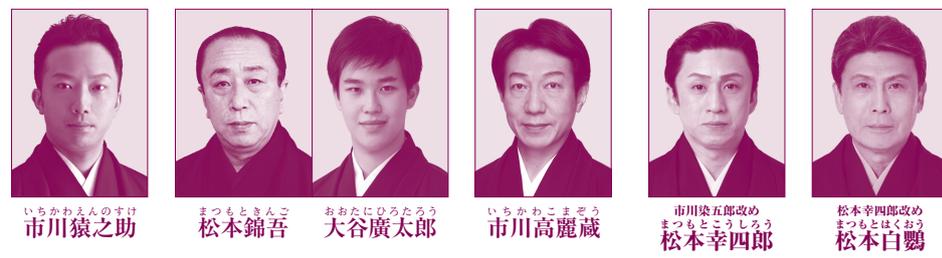
かみしぎがた
袴姿の俳優が舞台に並び、皆様に二代目松本白鸚、十代目松本幸四郎の襲名披露のご挨拶を申し上げる華やかな一幕です。

双蝶々曲輪日記

二、引窓 一幕

南与兵衛 後南方十次兵衛 女房お早 三原伝造 母お幸 平岡丹平 濡髪長五郎
改染五郎 松本幸四郎
改染五郎 松本幸四郎
大市川幸四郎 高川幸四郎 松谷高麗蔵 松本錦吾 松本幸四郎 松本白鸚

大坂で人気の相撲取り濡髪長五郎（白鸚）は、恩人を救う為に人を殺めてしまい、母お幸（幸雀）のもとを訪ねて来ます。わが子との久々の再会を喜ぶお幸でしたが、そこへ家主である義理の息子、与兵衛（幸四郎）が帰ってきます。皮肉なことに、父の跡を継ぎ代官に取り立てられたばかりの与兵衛の初仕事は、長五郎を捕縛することでした。しかし長五郎とお幸が実の親子であると気づいた与兵衛は、お幸の気持ちを感じ、長五郎を落ち延びさせるのでした。
実子と義理の息子の間で苦しむお幸と、その気持ちを察する二人の息子、そして与兵衛の女房お早（高麗蔵）。月明かりの差し込む引窓を巧みに使いながら、お互いを気遣う人々の苦悩と情愛を描いた情緒溢れる義太夫狂言の名作です。



三色彩間蒔豆
清元連中
かさね 与右衛門
改染五郎 松本幸四郎
改染五郎 松本幸四郎

浪人の与右衛門（幸四郎）と腰元のかさね（猿之助）は、道ならぬ恋の果てに心中を約束した仲でしたが、与右衛門は土壇場で逃亡。追ってきたかさねと木下川の堤で再会します。川面に流れてきた髑髏に刺さった鎌で与右衛門が引き抜くと、美しいかさねの顔が見るも恐ろしい形相に変化します。これは、与右衛門が行った悪事の因果。実は、与右衛門はかさねの母と密通し、義父を殺していたのです。与右衛門は義父を殺した鎌でかさねを殺しますが、今度はその怨念が与右衛門を襲うのです。
色模様から壮絶な殺し場に至るドラマ性に満ちた怪談舞踊を、猿之助のかさね、幸四郎の与右衛門でご覧いただきます。

◆公演日程 ※公文協主催公演

※ 6/30 (日)	東京都江戸川区	江戸川区総合文化センター
※ 7/1 月	神奈川県綾瀬市	綾瀬市オーエンス文化会館
※ 2 火	東京都北区	北とびあ さくらホール
※ 4 木	北海道釧路市	コーチャンフォー釧路文化ホール(釧路市民文化会館)
※ 6 土	北海道札幌市	札幌市教育文化会館
※ 8 月	青森県青森市	リンクステーションホール青森(青森市文化会館)
※ 9 火	岩手県北上市	北上市文化交流センター さくらホール

※ 10 水	山形県山形市	山形市民会館
※ 11 木	宮城県仙台市	東京エレクトロンホール宮城
13 土	秋田県鹿角郡	明治の芝居小屋「康楽館」
14 (日)		
※ 15 月	福島県福島市	とうほうみんなの文化センター(福島県文化センター)
※ 17 水	新潟県新潟市	新潟県民会館
※ 18 木	埼玉県熊谷市	熊谷文化創造館さくらめいと
※ 19 金	群馬県高崎市	群馬音楽センター
20 土	富山県富山市	富山県民会館

※ 21 (日)	石川県金沢市	石川県立音楽堂 邦楽ホール
※ 23 火	福井県越前市	越前市文化センター
※ 24 水	滋賀県大津市	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
※ 25 木	岐阜県岐阜市	岐阜市民会館
※ 26 金	愛知県春日井市	春日井市民会館
※ 27 土	愛知県豊橋市	穂の国とよはし芸術劇場PLAT
※ 29 月	東京都練馬区	練馬文化センター
※ 30 火	埼玉県越谷市	サンシティ越谷市民ホール(越谷コミュニティセンター)
※ 31 水	神奈川県横須賀市	よこすか芸術劇場